

日中、外を歩いていると、本当に身体が溶けてしまうのではないかと思うくらい暑い暑い夏でしたが、ようやく朝夕の気温もだいぶ低くなり、凌ぎやすい陽気になってきました。東北地方でも、厳しい暑さが続いていたとのこと、涼しい秋の風と高く澄んだ青空に、被災地の方々が心と身体を休めることができますようにと祈りつつ「ひとりの小さな手 通信 第8号」をお届けします。

8月末に、仙台の支援G代表の清水さんから「東日本大震災被災者支援G通信 NO.7」を送っていただきました。被災地の近くで、形を変えながらも枝を広げて活動を続けていらっしゃる様子や、被災地の現状などを伝えていただき、今後の私たちの支援活動についても改めて考えることができました。清水さんからのお手紙の一部をご紹介します。

「…略… このたびの3. 11被災支援活動につきましては、多大なるご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。…略… 一年半が経過し、改善されたこと・復興に向かう動きがある一方で、震災直後にはなかった人間関係の課題や震災特例の解除など暮らしにくさが増している部分もあります。被災地では自立が叫ばれていますが、がんばり続けようにも、精神的にも、体力的にも限界があります。被災された方々が、ご自身のペースで、また、ご自身の方法で自立に向かえるよう、被災者とともに未来を紡いで参りたいと思います。まち全体の復興も見え始めたばかりで、一人ひとりの暮らしの再建となりますと、まだまだ道のりは遠く、見通しも立たない方がほとんどです。

今後とも被災地へのあたたかいまなざしとご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。」

夏休み中に、奈良先生夫妻が被災地を訪問した際にも、支援先の皆さんが、「いつも心にとめてくださることが嬉しい。被災地のことを忘れないでください。」とおっしゃっていたそうです。

被災地に心を寄せて祈り、これからも小さな支援を続けていきたいと思います。（根岸）

「ひとりの小さな手」

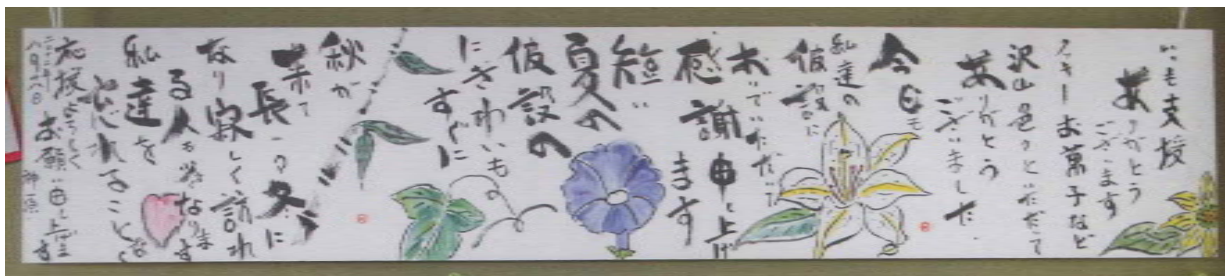
ひとりの小さな手 何もできないけど
 それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
 ひとりの小さな目 何も見えないけど
 それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
 ひとりの小さな声 何も言えないけど
 それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
 ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
 それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
 ひとりの人間は とても弱いけど
 それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇被災地訪問

○8/20～21 岩手県千厩 小羊幼稚園
陸前高田 教育委員会 ほっとカフェ
南相馬 原町聖愛保育園
鹿島栄光教会

(奈良昌人・亜樹子)

昨年5月に伺った時から1年と少し経ちました。状況はまだまだ大変ですが、皆さんは、前向きに歩んでおられます。陸前高田では仮設住宅を見せていただきましたが、隣りの声が聞こえ、夏は暑くて冬は寒そうです。不自由な生活をされておられ、特にお年寄りには心配です。陸前高田のホットカフェでは私たちがうかがうのを待っていてくださり、素晴らしい絵手紙をいただきました。その中に、こうありました。「秋が来て、長い冬になり寂しく訪れる人も少なくなります。私達を忘れることなく、応援よろしく願います。」とありました。「忘れない」このことが大切なのではないのでしょうか。



○教会学校アンデレクラスメンバー 加藤さん 木下さん 久保さん
8/20～22 南三陸ボランティアツアー参加

教会学校分級の時間に、お子さんたちが通われている小学校主催のボランティアツアーに参加された方々から、お話を伺うことができました。

実際に目にした被災地の衝撃的な光景や、身近な人々を亡くしながらも今後のためにと津波の経験を語ってくださっているガイドさんからのお話、瓦礫撤去作業の様子などを伝えていただき、改めて被災地に心を寄せる機会となりました。

ほんのわずかですが、ツアー参加の感想から抜粋をご紹介します。

・私たちの住む横浜では、大きな地震や津波があったことを忘れてしまいそうになるくらい、震災前に近い生活に戻っているように思います。でも、被災地では忘れたくてもきっと一瞬でも忘れることのできない環境に生活しているのだと思います。今回参加をして、本当にまだまだ多くの支援がいるのだと実感しました。これからも続けられることは続けていきたいと思いましたが、被災地に何かと欲求もあっていてどうすれば？と欲求している方がたくさんいる中で、私たちはこうして被災地の様子を知り、少しでも何か参加できる場所があるということに感謝します。

・現地を見て、自然の力のものすごさを実感しました。この瓦礫の山は、自然のものではなく、すべて人間の作ったものだという牧師先生のことばが印象的でした。被災地復興はすぐにはできないことがわかりました。だからこそ被災地のことを忘れることなく、つながりを持って細く長く自分のできることをしていきたいと思えます。

◇報告

- 9/1 (土) のげやまフェスティバル
福島 南相馬 原町聖愛保育園へ
放射線除去費用として100円募金
教会学校、教会の方々の分と合わせ、17,040円の募金が集まりました。
ご協力ありがとうございました。
- 9/9 (日) チャリティーコンサート
たくさんの方と共に、被災地に想いを馳せて、コンサートの時を過ごしました。



ジャズピアニスト 高田ひろ子さん



チケット代 82,500円 チケット代の中から高田ひろ子さんに御礼をいたしました。
義援金 5,250円
ケーキバザー 22,200円

- 9/16 (水) ガレージセール
たくさんの方々のご協力をいただき、幼稚園保護者の方々とのよい交わりとなりました。ありがとうございました。

HANAHANA 36,850円
ケーキバザー 37,000円

ひつじ会主催のガレージセールのためにいただいたたくさんの献品の中から、被災地にも物資をお送りしました。(献品コーナーの売り上げはひつじ会会計に入金いたしました。)

◇支援物資の発送

- 7/25 (水) ・仙台 清水さんへ 段ボール4箱
食器類 台所雑貨
食品 コーヒー、紅茶など
洗剤など日用雑貨
衣類 下着 靴下 スカーフ
タオル ハンカチ 袋類
- 8/3 (金) ・仙台 清水さんへ
教会学校子どもたちの手作りうちわ60枚
- 8/13 (月) ・陸前高田 ほっとカフェへ
手作りパウンドケーキ3本
ほっとカフェの佐藤さんが来訪され、直接お渡しできました。
- 9/4 (火) ・仙台支援 清水さんへ 段ボール6箱
衣類
食器 鍋 コーヒーメーカー
洗剤など日用雑貨
タオル ポーチ 袋類 ヘルスメーター
支援物資への、お礼のお手紙をいただきました。

◇義援金送金	原町聖愛保育園	50,000円
	原町教会	50,000円
	鹿島栄光教会	20,000円
	ほっとカフェ	20,000円
	東松島市野蒜地区へ	30,000円

◇今後の予定

○11/10 (土)

第7回 東日本大震災復興支援
のげやま Gospel 2nd チャリティーコンサート
 出演 野毛山幼稚園ゴスペルサークル
 サニーサイドゴスペルクラブ
 開場 12:30 開演 13:00
 入場料 500円

チケットの前売りにつきましては、ゴスペルサークル代表 大川さん(すみれ赤) または、幼稚園事務所にお尋ねください。

	発行	2012年9月20日
	事務局	小さな手プロジェクト
		〒22000032
根岸ひろみ		横浜市西区老松町30地
丸田幸子		野毛山キリストの教会
上條慎子		野毛山幼稚園
諏訪奈貴		